



SnapMirrorライセンス

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

SnapMirrorライセンス	1
SnapMirrorライセンスの概要	1
SnapMirrorクラウドライセンスのインストール	2

SnapMirrorライセンス

SnapMirrorライセンスの概要

ONTAP 9.3以降では、ONTAPインスタンス間のレプリケーションのライセンスが簡易化されました。ONTAP 9リリースでは、SnapMirrorライセンスでバックアップ関係とミラー関係の両方がサポートされます。SnapMirrorライセンスを使用すると、バックアップとディザスタリカバリの両方のユースケースでONTAPレプリケーションをサポートできます。

ONTAP 9.3より前のリリースでは、ONTAPインスタンス間のconfigure_vault_relationshipsには別個のSnapVaultライセンスが必要でした。この場合、DPインスタンスに保持期間の長いバックアップユースケースに対応するために、より多くのSnapshotコピーが保持される可能性がありました。また、ONTAPインスタンス間で_mirror_relationshipsを設定するには、SnapMirrorライセンスが必要でした。この場合、クラスタフェイルオーバーを可能にするディザスタリカバリのユースケースに対応するために、各ONTAPインスタンスが同じ数のSnapshotコピー (_mirror_image) を保持します。ONTAP 8.xおよび9.xリリースでは、SnapMirrorライセンスとSnapVaultライセンスの両方が引き続き使用され、サポートされます。

SnapVaultライセンスは引き続き機能し、ONTAP 8.xと9.xの両方のリリースでサポートされますが、SnapMirrorライセンスをSnapVaultライセンスの代わりに使用して、ミラー構成とバックアップ構成の両方に使用できます。

ONTAP非同期レプリケーションの場合、ONTAP 9.3以降では、単一のユニファイドレプリケーションエンジンを使用して拡張データ保護モード (XDP) ポリシーがSnapMirror設定されます。XDPライセンスは、ミラーポリシー、バックアップポリシー、またはミラーバックアップポリシーに対して設定できます。ソースとデスティネーションの両方のクラスタにSnapMirrorライセンスが必要です。SnapVaultライセンスは、SnapMirrorライセンスがすでにインストールされている場合は必要ありません。SnapMirror非同期永久ライセンスは、新しいAFFおよびFASシステムにインストールされるONTAP ONEソフトウェアスイートに含まれています。

データ保護設定の制限は、ONTAPのバージョン、ハードウェアプラットフォーム、インストールされているライセンスなど、いくつかの要因で決まります。詳細については、を参照してください "[Hardware Universe](#)"。

SnapMirror同期ライセンス

ONTAP 9.5以降では、SnapMirror同期関係がサポートされます。SnapMirror同期関係を作成するには、次のライセンスが必要です。

- ソースクラスタとデスティネーションクラスタの両方にSnapMirror同期ライセンスが必要です。

SnapMirror同期ライセンスはに含まれてい"[ONTAP Oneライセンススイート](#)"ます。

2019年6月より前にPremium BundleまたはFlash Bundleでシステムを購入した場合は、NetAppサポートサイトからNetAppマスターキーをダウンロードして、必要なSnapMirror同期ライセンスを取得できます "[マスターライセンスキー](#)"。

- ソースクラスタとデスティネーションクラスタの両方にSnapMirrorライセンスが必要です。

SnapMirrorクラウドライセンス

Snapshot.8以降でONTAP 9は、SnapMirrorクラウドライセンスが、ONTAPインスタンスからオブジェクトストレージエンドポイントへのSnapshotコピーの非同期レプリケーションを提供します。レプリケーションターゲットは、オンプレミスのオブジェクトストアとS3およびS3互換のパブリッククラウドオブジェクトストレージサービスの両方を使用して設定できます。SnapMirrorのクラウド関係は、ONTAPシステムから認定済みのオブジェクトストレージターゲットへサポートされます。

SnapMirror Cloudはスタンドアロンライセンスとしては提供されていません。1つのONTAPクラスタに必要なライセンスは1つだけです。SnapMirrorクラウドライセンスに加えて、SnapMirror非同期ライセンスも必要です。

SnapMirrorクラウド関係を作成するには、次のライセンスが必要です。

- オブジェクトストアエンドポイントに直接レプリケートするためのSnapMirrorライセンスとSnapMirrorクラウドライセンスの両方。
- マルチポリシーレプリケーションワークフロー（ディスクツーディスククラウドなど）を設定する場合は、すべてのONTAPインスタンスにSnapMirrorライセンスが必要です。一方、SnapMirrorクラウドライセンスは、オブジェクトストレージエンドポイントに直接レプリケートするソースクラスタにのみ必要です。

ONTAP 9 .9.1以降では、この "[System Managerを使用したSnapMirrorクラウドレプリケーション](#)"機能を使用できます。

認定されたSnapMirrorクラウドサードパーティアプリケーションのリストは、NetAppのWebサイトで公開されています。

Data Protection Optimizedライセンス

Data Protection Optimized (DPO) ライセンスの販売は終了し、現在のプラットフォームではDPOはサポートされません。ただし、サポート対象のプラットフォームにDPOライセンスがインストールされている場合、NetAppはそのプラットフォームの販売終了までサポート提供を継続します。

DPOはONTAP Oneライセンス バンドルには含まれていないため、DPOライセンスがシステムにインストールされている場合はONTAP Oneライセンス バンドルにアップグレードできません。

サポートされるプラットフォームの詳細については、を参照してください "[Hardware Universe](#)".

SnapMirrorクラウドライセンスのインストール

SnapMirrorクラウド関係は、認定済みの他社製バックアップアプリケーションを使用してオーケストレーションできます。ONTAP 9 .9.1以降では、System Managerを使用してSnapMirrorのクラウドレプリケーションをオーケストレーションすることもできます。System Managerを使用してオンプレミスのONTAPをオブジェクトストレージバックアップにオーケストレーションする場合は、SnapMirrorとSnapMirrorの両方のクラウド容量ライセンスが必要です。また、SnapMirrorクラウドAPIライセンスを要求してインストールする必要があります。

タスクの内容

SnapMirrorクラウドライセンスとSnapMirror S3ライセンスはクラスタライセンスであり、ノードライセンス

ではないため、ONTAP ONEライセンスバンドルには_not_deliveredが付属しています。これらのライセンスは、個別のONTAP One Compatibilityバンドルに含まれています。SnapMirrorクラウドを有効にする場合は、このバンドルをリクエストする必要があります。

また、System ManagerによるオブジェクトストレージへのSnapMirrorクラウドバックアップのオーケストレーションには、SnapMirrorクラウドAPIキーが必要です。このAPIライセンスはシングルインスタンスのクラスタ全体ライセンスであるため、クラスタ内のすべてのノードにインストールする必要はありません。

手順

ONTAP ONE Compatibility BundleとSnapMirrorクラウドAPIライセンスを要求してダウンロードし、System Managerを使用してインストールする必要があります。

1. ライセンスを付与するクラスタのクラスタUUIDを探して記録します。

クラスタ用のONTAP One Compatibilityバンドルを注文する要求を送信するには、クラスタUUIDが必要です。

2. NetApp営業チームに連絡して、ONTAP ONE互換性バンドルをリクエストしてください。
3. NetAppサポートサイトの手順に従って、SnapMirrorクラウドAPIライセンスを要求します。

"SnapMirrorクラウドAPIライセンスキーを要求"

4. ライセンスファイルを受け取ってダウンロードしたら、System Managerを使用してONTAPクラウド互換性NLFとSnapMirrorクラウドAPI NLFをクラスタにアップロードします。
 - a. [クラスタ]>[設定]*をクリックします。
 - b. ウィンドウで、[ライセンス]*をクリックします。
 - c. [ライセンス]*ウィンドウで、をクリックします **+ Add**。
 - d. [* ライセンスの追加 *] ダイアログボックスで、[* 参照] をクリックしてダウンロードした NLF を選択し、[* 追加] をクリックしてファイルをクラスタにアップロードします。

関連情報

["SnapMirrorを使用したデータのクラウドへのバックアップ"](#)

["NetAppソフトウェアライセンスの検索"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。